

2025 年 3 月 13 日

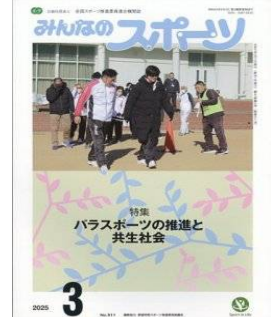
『みんなのスポーツ』 3 月号 (No.511) から学ぶ

林 但

平素より協議会の活動にご理解をいただきありがとうございます。

表記、公益社団法人 全国スポーツ推進委員連合機関誌の 3 月号は「**パラスポーツの推進と共生社会**」特集号です。

私の視点で気づいたこと・感じた事、参考になる点を 4 点記載します。



(1)今月号はパラスポーツの推進と共生社会の特集号です。8 日の神奈川県理事会でも話題になったが、「パラスポーツ」に関しては「福祉局(部)」等が担当で案内などは来ない自治体が多い。横須賀もそのひとつで情報はこない。パラの大会やデフリンピック?なども個人的に関与している状況である。県などからの通達(案内)などの改善・注意書きの付与などの工夫が必要であるように感じ理事会等で提案した。市事務局にはこちらから確認が必要か? 考えていかなければいけないと思います。

(2)わが町の健康・体力づくり 千葉県成田市 記事を読んで感じたこと・「**うなバレー**」誰もが楽しめるスポーツの開発である。37 名のスポーツ推進委員(平均年齢 54 歳)が月に 1 回の定例会や出張指導を積み重ね実技指導を行っておられるのは素晴らしい。平均年齢は違わないのに。人数が多くなると「**リングelman 効果**」でいう私一人ぐらいいなくなつて考える人が出がちであるが上手にやられている模様。神奈川県下でもニュースポーツの開発や普及取り組んで市町は多い。2 月に行った横須賀「ニュースポーツ交流会」でみんなが取り組んでいる姿、笑顔や声援他の声かけなどとても良い雰囲気であった、みんなが楽しんでおられた。この雰囲気を継続していきたいと感じた。読んでいくと本当に学びや気づきを多く得ることができる。

(3)コーチング 言葉がけで選手のやる気が変わる このコーナーは毎回楽しみにしています。2 月に行われた地域の児童サッカー大会での場面を思い出しました。低学年・中学年・高学年ごとに指導をされている方がおられる。試合前・試合中に指導者がどんな声がけしているかそばにより聞いていました。グッドコーチ的に指導されている方がほとんどであった。今市内には 25 チームがあるが、今後も機会を作り応援に伺ってみたいと考えています。学区内スポーツ推進委員等への言葉かけはなかなかおつかしくさらにひと工夫が必要のように考えています。

(4)ペップトーク「**フィードバック**」 岩崎良純氏 2 月神奈川県大会でも講演頂いた、準備が良くテンポよく話をされた(スポ推よこすか 68 号に詳しく掲載) 3 月号には「能力を活かす能力」という、年明け早々に日米双方で野球殿堂入りした、イチロー選手のコメントが

冒頭で紹介されていました。なるほど

誰かが何かで喜んでいる時の「周り」の反応。逆に誰かが負けやミスを喫して落ち込んでいる時の「周り」のフィードバックによって、その後の人生が変わる可能性があります。

バスケットボールのマイケル・ジョーダンさんも「何度も、何度も失敗したから成功した！」と述べています。「改善」には「失敗」や「負け」の前提があります。それを否定的かつ消極的に責めるのではなく、「さあこの失敗から何を学び、どう改善し、どちらの方向どんな一歩を踏み出していくか一緒に考えよう！」という肯定的なフィードバックをくれる「周り」の存在はその後の人生に大きな影響を与えてくれるでしょう。

ペップトークは「挑戦を応援する声掛け」です。その結果として失敗したときでも、前向きな声掛けをすることが、能力や才能を引き出し、それを育む力を持っているのではないのでしょうか？

今月号では4つの事に記載致しました、知っていることが多いと思う方もあるかもしれませんが、気づいたことでできることから始めて（行動）みませんか？

* **本冊子は有益で私たちの活動のヒントや答えがある**ように私は思います。年間購読されなかった方は、個別にも購入はできますので一度読んでみてください。問題意識や感度を高めていくと紹介されている事例が使える場合と横須賀ではこのままでは使えないがこうすればできる。こんな方法もあるなど感ずると思います。是非一緒に取り組んでいきましょう！

以上